

NEWS RELEASE

2026年2月16日

株式会社電通ライブ

電通ライブ、人の気持ちを動かす「情動」をカガクする研究開発組織「情動 LABO」を設立

AI時代のリアル体験価値を可視化 新たな成長に向けたビジネスを創造



株式会社電通ライブ（本社：東京都港区、代表取締役社長執行役員：中邨正人、以下「電通ライブ」）は、人の気持ちを動かす「情動」を科学的・学術的に研究し、その知見を新たなビジネスへ実装する研究開発組織「情動 LABO」*を2026年2月に設立いたしました。

■設立の背景：AI時代だからこそ、「情動」が価値を生む

AI やデジタルテクノロジーが浸透する今、リアルな場での体験価値が重要性を増しています。人と人が直接集い、同じ空間で同じ時間を共有する体験こそが、人の心を動かし、行動変容を促す力を持っています。「なぜ人は感動するのか」「どのような体験が共感や熱狂を生み、行動変容を促すのか」—こうした問いに科学的・学術的にアプローチし、電通ライブのコアコンピタンスである「人の気持ちを動かす力=情動」を研究・体系化することで、新たなビジネス価値の創出と社会課題の解決を目指します。

「情動」とは、喜び、悲しみ、感動など、外界の刺激に反応して生じる心の動きです。共感や熱狂といった感情の高まりを伴い、記憶に残り、人を突き動かすエネルギーを持っています。

■「情動 LABO」のミッション

体験で人の気持ちが強く動く「情動」のメカニズムに科学的・学術的にアプローチし、体験→情動の喚起→行動変容→ビジネス成果という一連の仕組みをモデル化し、リアル体験の価値を新たなビジネス開発に活用する。

1.体験で人の気持ちが強くと動く「情動」の可視化・定量化

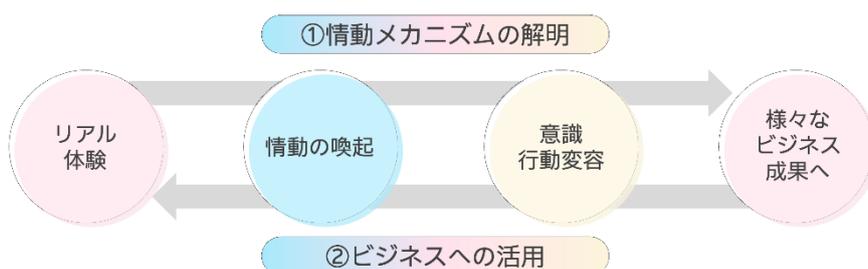
「情動」のメカニズムを科学的に解明し、イベント・スペース体験における効果測定手法を確立する。

2.社会・生活者の意識行動変容の促進

情動研究の知見を、人々の行動変容を促すイベント・スペース設計や、コミュニティ運営、コンテンツ制作等に活用し、購買やクチコミ喚起等のビジネス成果につなげる。

3.新たなビジネスへの戦略活用

研究成果の知財化及び戦略的活用により、新たなビジネス開発を行う。



【リアルな体験から生み出される「情動」のビジネス成果例】

- | | | | |
|---|--|--|--|
| ■ブランド指標
・ブランド認知の向上
・ブランド想起率の向上
・ブランド好意度の向上
・ブランドロイヤルティの向上 | ■購買行動指標
・新規購入率の向上
・継続購入率の向上
・購買単価の向上
・LTV（顧客生涯価値）の向上 | ■推奨・拡散指標
・NPS（推奨意向）の向上
・口コミ・SNSシェアの増加
・株購入（PBR向上） | ■エンゲージメント指標
・参加者満足度の向上
・コミュニティ形成促進
・帰属意識の醸成 |
|---|--|--|--|

① 情動メカニズムの解明：体験の結果、どんなビジネス成果につながるのかを解明する

② ビジネスへの活用：①を活用して、ビジネス成果から逆算、リアル体験を設計し、体験と成果を結びつける

■研究領域とテーマ

「情動 LABO」では、dentsu Japan の3つの価値創造領域に沿って、ビジネス・トランスフォーメーション、マーケティング、コンテンツ（スポーツ&エンターテインメント）の3つのカテゴリーで、科学的研究と社会実装を推進し、新たなビジネスを創出します。また、dentsu Japan の各社及び、イベント・スペース産業の各社と連携しビジネスの拡張や協業を促進します。

■研究体制

社内の多様な専門人材に加え、外部の研究機関や有識者とも連携し、学術的エビデンスに基づいた研究開発を推進します。今回の「情動 LABO」の設立にあたり、[日本感性工学会](#)のプラチナスポンサーとして産学連携を展開することで、学术界と産業界の橋渡し役を担い、感性工学分野の発展にも貢献してまいります。日本感性工学会は、人間の感性（感じる心）を科学的に解明し、製品開発やサービス設計に活用する学問領域を推進する学術団体です。アカデミアの研究者や学生だけでなく産業界からも多くの参加者が集まる、我が国発祥の感性工学に関する産学連携の場として機能しています。

■株式会社電通ライブ 代表取締役社長執行役員：中邨 正人コメント

「AI 時代だからこそ、リアルな場で人と人が集い、同じ体験を共有することの価値がますます高まっています。電通ライブは、これまで培ってきた『人の気持ちを動かす』ノウハウを、科学的研究によって体系化・進化させることで、新たな価値創造に挑戦します。『情動 LABO』を起点に、私たちのコアコンピタンスから生まれる新しいビジネスを創造し、業界や社会の持続可能な成長にも寄与してまいります」

*「情動 LABO」：「情動を研究する社内外共創を前提としたラボ (Laboratory for Open Collaboration) の意味」

「AI 時代に、人の気持ちを動かす体験で、未来の原動力をつくる」

電通ライブはイベント・スペース事業を中核に、リアル体験によるビジネス貢献と、社会全体に中長期的な価値を生み出していきます。

以上

【本リリースに関するお問い合わせ先】

株式会社電通ライブ 広報 三島・佐藤 kouhou@dentsulive.co.jp

<https://www.dentsulive.co.jp/>